

大手川だより

— 大手川河川激甚災害対策特別緊急事業 —

— 第40号 —
平成20年5月20日

〒626-0044 宮津市字吉原2586-2
京都府丹後土木事務所 災害対策室
Tel.0772-22-3243

〒626-8501 宮津市字柳縄手345-1
宮津市建設室 事業推進係
Tel.0772-22-2121(代)
内線305

7箇所の橋梁改築工事に着手しています。

既に新中橋と盛林寺橋は完成し、中橋、京口橋、福田橋、KTR橋梁は本格的に工事を進めているところですが、さらに善光橋、堂ノ下橋の改築工事にも着手しました。また、6月からは百合が丘橋の改築にも着手する予定です。いずれの橋も広くなる川幅に併せて、長い橋に架け替えます。

橋の架け替え工事では、現在の橋梁や周辺道路の通行止め、迂回による混雑等周辺の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



福田橋



平成19年度 魚類調査で捕獲した鮭

鮭の遡上が始まっています？

4月は一度海に下った鮭の稚魚が川へと遡上を始めます。京丹後市の宇川では4月13日に遡上が確認されています。由良川でも遡上が始まっています。大手川でも鮭が川に戻り始めているはずですが確認は出来ていません。

河川改修工事が終わっても元気に鮭が遡上する大手川であるように、生物にも配慮して工事に取り組んでいます。

あゆの遡上情報は、国土交通省のHPで公開しています。

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/ayu/index.html

コラム—京口橋の地質について—

現在、京口橋は右岸側の橋台をつくっているところです。京口橋あたりの地質は、周辺の山地を形作っている宮津花崗岩を基盤としてこれが、地中のいわば「骨組み」になっています。その上には、花崗岩の風化によって出来た砂やレキが、大手川の上流から流れて堆積しています。大手川沿いで、堆積層が発達してできた地形は、「宮津低地」と呼ばれています。京口橋の橋台は、宮津低地の軟弱な砂の層の上に位置しますので、しっかりその下の花崗岩までコンクリート杭を打ち込んで、基礎を安定させます。ボーリング調査時に採取した堆積



橋台底のコンクリート杭です。地中、26mの深さがあります。

ここが橋台の底です。堆積した軟弱な砂の層が近づきます。

土には、貝殻の破片が多く混じっていて、また流木も確認されています。

大手川河川改修で感じること

宮津市松原 道林 宏保

私の住んでいる松原地区は水害常襲地帯です。随分水の被害にあってきましたが、その中でも忘れられないのが、昭和25年9月のジェーン台風、昭和34年9月の伊勢湾台風です。この強烈な台風の共通点は、風が北から吹き込んでくることでした。そして、あの忌々しい台風23号。これまた強烈な北風でした。夕方6時頃から水が道路に溢れてきました。「水よ、家の中に入ってくれるな」との祈りもむなく、少しずつ、少しずつ浸水してきます。そして、とうとう床上30センチ。もうどうしようもない。後は、水の引き際に泥を出すしかありません。私たち夫婦は朝の4時まで泥の排出を続けました。もう二度とあんな体験はしたくない。

あれから3年半。2500世帯が被災という被害の甚大さを重く受け止めていただいた京都府により、現在驚くほどの勢いで改修工事が進んでいます。

大手川が安全な川に生まれ変われることに感謝しつつ、これからも、住民のことを第一に考えた工事をお願いします。



裏面もご覧ください

大手川位置図

ふれあい広場
見学スペース設置中！
作業中は噴水もあがってます！！



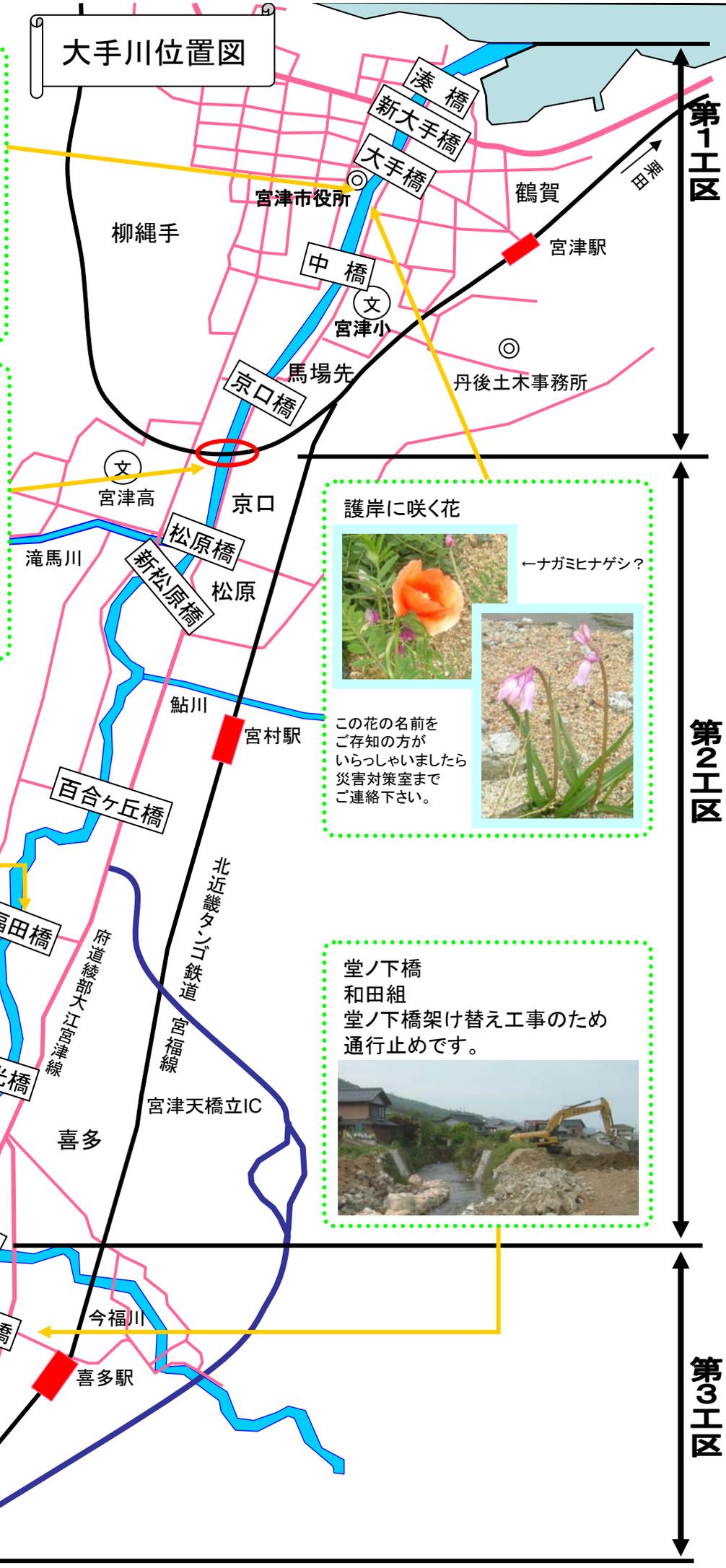
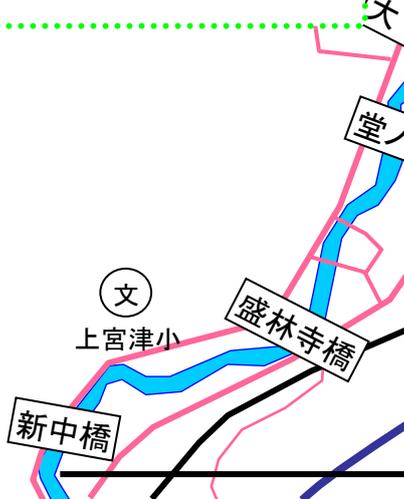
KTR宮津川橋りょう
架け替え工事



福田橋架け替え工事
(下部工) 宋徳建設
橋台前面護岸を施工しています。
(上部工) ドーピー建設工業
橋桁を架設しました。



善光橋
善光橋架け替え工事のため
5月12日より通行止めです。



護岸に咲く花



←ナガミヒナゲシ？



この花の名前をご存知の方が
いらっしゃいましたら
災害対策室まで
ご連絡下さい。

堂ノ下橋
和田組
堂ノ下橋架け替え工事のため
通行止めです。



第1工区

第2工区

第3工区